

私とみなさんとはわずか一年間のお付き合いではありましたが、私が校長として初めて出会った6年生がみなさんであったこと、平成から令和に変わる記念すべき年の石部小学校のリーダーがみなさんであったことに運命的な出会いを感じ、

「この6年生といっしょに、この6年生を信じて、『えがおあふれる学校』を創っていくぞ！」という思いを強く持って一年間過ごしてきました。

心に残る思い出が二つ。

一つ目は、6年生の大きな行事である修学旅行に一緒に行くことができたこと。

「この子たちと一緒にいることができてほんとによかった！」と心から思える二日間。

奈良で、二見の旅館で、スペイン村で、みんなの笑顔が最高にはじけていました。夜のお買い物では、お小遣いと相談しながら、家族のためにおみやげを探している姿に癒やされました。

そして、4時に起きていっしょに見た日の出の美しかったこと、その朝日の光にみなさんの横顔も輝いていました。私はあの美しい光景を一生忘れないでしょう。

もう一つは、リーダーとして力を尽くした「運動会」。応援合戦で見た企画力、バイタリティ！！団結力！ チームをまとめるまでには、仲間たちとぶつかったり、悩んだりしたことでしょう。でもやりきって、絆を深めましたね。

また、静と動で見る者の心を魅了した「組体操」では、下級生から「すごい！」「かっこいい！」自然とわき起こる拍手と歓声！ 緑の芝生に映えるオレンジ色のTシャツの「あ・こ・が・れ」の四文字が誇らしく見えました。

「えがお」あふれる学校を創りたい！

一年間、私のそんな思いを、ダブル村田先生とともに、日々叶えてくれた卒業生のみなさん。本当にありがとう！

いよいよ旅立ちの時が近づいてきたみなさんに私が伝えたいこと。それは、「ふるさと」の話です。この一年間、みなさんといっしょにかけがえのない時間を過ごしたこの石部小学校が、新たな「わたしのふるさと」になりました。

私は、「ふるさと」というものは、「場所」であり、「ひと」であると思っています。

みなさんにとってもこの石部小学校がずっと「ふるさと」でありますように。この6年間に会った友達や先生方や、地域の方々があなたの「ふるさと」になれますように。

「ふるさと」は、あなたの背中をそっと押し、あなたをずっと見守り、いつでも迎え入れてくれます。どうか、ここ「ふるさと石部小学校」から、勇気と自信をもって、一歩踏み出してください。

最後になりましたが、保護者の皆様へ一言 お祝いの言葉を申し上げます。

本日は、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。

このような状況のなかでも、六年生なりにこの状況を受けとめ、背筋をしゃんと伸ばし、こうして立派に卒業式に臨む子どもたちのなんと凛々しいこと。

6年前の入学の日から、このように心身共にたくましく、見違えるばかりに成長されたお子様の姿に、保護者様のお喜びはいかばかりかと心からお祝い申し上げます。

私たち教職員は、子どもたちの健やかな成長を目指し、日々子どもたちと向き合い、精一杯教育活動を積み重ねてまいりました。が、十分に行き届かなかったこともあったことと思います。それにもかかわりませず、今日まで温かいご支援ご協力をいただきましたことに対しまして、全教職員とともに感謝し、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

これからも皆様方といっしょに、卒業生がますます活躍されることを応援しております。

それでは、卒業生のみなさん。石部小学校で学び、石部小学校のあこがれのリーダーであったことに自信と誇りを持って、中学校でも力いっぱい励んでください。

私は、大好きな皆さんのことを「ふるさと石部」のみなさんとともに「笑顔」で、全力で、応援し続けます。みなさんの未来に続く限りない可能性を信じ、幸せを願い、式辞といたします。